

豊平川支流 漁入沢

平成 24 年 7 月 8 日（日） 晴れ時々曇り

安藤 CL 藤木 SL 永宮 SL 水江 酒井 斉藤 河村 相馬 阿部 川村 後藤 笹山
計 12 名参加

6:00 伊達道の駅出発

7:40 中山峠林道ゲート到着

9:15 漁入沢 P 場 到着

沢側林道から入渓地点を目指す、30 分程走った地点で林道陥没、通行不可能、山側林道分岐まで引き返す。予定より約 1 時間遅れ。入渓地点手前にも土砂崩れあり。



9:30 720 地点より入渓開始、天気晴れ、川は明るく、流れ穏やか、川幅ゆったり、石の苔少なく歩きやすい。

10:05 4m ほどの滝、ロープを張りプルージックノットでロープスリングを結び、左岸から上る。続いて第 2 の滝。切り立った岩場の右岸を、水深の浅い所、安定した石、側面の岩の出っ張りを確保しながら慎重に渡る。第 3、第 4 の滝は、右岸を高巻きで越える。深い滝つぼを持ち、限りなく透明な青緑の水を湛えている。



11:55 820 二股到着。目的地点は左股 1020 二股地点であるが、時間が許す範囲で右股方向へ進む。

12:15 遡行中止、昼食。

12:45 下山

第 4 第 3 滝は下りも右岸を高巻き、第 2 の滝は上りでは使わなかったロープを張る。滑る岩場は下りのほうがより緊張し、掴まる木や岩を慎重に選ぶ。滝は見上げるより見下ろすほうが落差と迫力を感じる。第 1 の滝は上りと同じくロープを使って下りる。岩壁に体をぴったり付けないで自分の足元が見える状態“はしごを降りるイメージで”とアドバイスを受ける。



15:10 P 場到着、帰路へ

雑感 3 度目の沢歩き。美しい川の流れに大小の滝、変化に富んだ楽しい沢歩きだった。高巻き、へつり、なめ等々、周りから聞こえてくる沢用語が、自分の気持ちにフィットし自然に口をついて出るようになればもっと楽しくなるだろう。

記録 笹山

